

学校関係者評価報告書

評価委員長：（ 神田 基史 ）

評価期日：令和5年3月10日

1 統括的意見

重点項目	具体的なご意見
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の対応と特別教室や校庭の使用制約がある中で、意欲や主体性を高める指導を着実に進めることは難しかったと思われるが、児童の評価アンケートでは「説明や指示が分かる」「授業は楽しくできた」が90%の高い評価を得ており、教員各自の授業力の向上への努力が窺える。 ・外部講師を招聘した研修会(道徳)は貴重な研修の機会となっている。
豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎新築の途上で運動場や遊びの場の制約が大きい中で先生方は子どもたちの心理的な安定や良好な対人関係を保つための配慮や工夫に見えない努力を重ねており、その成果を挙げていると思われる。
組織力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌システムの見直しや会議の効率化の取り組みが、働き方改革にどのように結びついたか、さらなる検討と改善に努めてほしい。 ・運動会や展覧会等の参観からは、多忙の中で教職員が連携し、状況に応じた現実的な対応をしていることが窺えた。
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部、AC(英語学習のためのボランティア)、図書ボランティア、読み聞かせボランティア、バリアフリーパートナーなどとの連携に努め、町会行事等にも協力し、効果的な教育活動を展開している。 ・毎日の授業風景や子どもたちの様子を伝える校長日記は継続を望む。
教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・特別教室等の普通教室転用や次年度の教室数の確保など管理職・教職員が一丸となって教育環境の改善・整備の検討に努めている。

2 全校で共有できる意見がありましたら、お書きください。

(1) 肯定的意見(2つ程度まで)

・コロナ禍と校舎建設の伴う教室や校庭の使用制限の二重苦の状況下、教職員の努力により児童の健康・安全を維持しながら教育活動を進められたことは、十分評価できる。

(2) 改善に向けた意見(2つ程度まで)

・校舎新築により校庭が使えない状況に加えてコロナ禍における行事の自粛等が続き、児童のストレス対応に苦慮してきたと思われるが、コロナ対応の新指針を踏まえ通常の教育活動が安全・安全に実施できる環境づくりに継続して取り組んで頂きたい。

・保護者アンケートからは、いじめの防止や学校としての具体的取り組みに関して、「わからない」の回答が他の設問と比べると多いので適切な情報提供や説明の機会を増やしてほしい。